

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28—87	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現B332	新編現代文B 改訂版		

1. 編修の基本方針

- ・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、総合的な国語力をはぐくむことができるよう配慮する。
- ・思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒をはぐくむことを重視し、進んで読書し、自らの読書生活を豊かにしていく態度が身につくよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、近代から現代まで、さまざまな内容、ジャンルの教材を幅広く取り上げる。
- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 1 明日をひらく 「きつと叶いますよ」／「迷う」力のすばらしさ	・個人の価値を尊重して自主及び自立の精神を養い、他者と協調し合いながら社会の形成に参画することをねらいとし、自分の役割に誇りをもち、将来への希望をはぐくむ『「きつと叶いますよ」』、自分の可能性を切り拓く意欲をかき立てる『「迷う」力のすばらしさ』を収録した。(第2・3号)	pp. 7-18
2 小説を楽しむ(一) ざしきわらし／ナイン	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、他者への想像力と豊かな情操をはぐくむことができる「ざしきわらし」「ナイン」を収録した。(第1号)	pp. 19-44
3 暮らしの中のことば 言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの／情報の力関係／● 社会生活と文章	・言葉についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統や文化への理解を深めることをねらいとし、日本語の不易と流行に対する知識を深め興味を抱かせる「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」、文字や図、記号などの情報の訴求力について考えさせる「情報の力関係」、社会生活の中で使われる実用的な文章の表現効果を再認識させる「社会生活と文章」を収録した。(第1・5号)	pp.45-62
4 詩を味わう 小諸なる古城のほとり／小景異情／六月／コスモス	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、優れた詩歌を収録した。(第1・5号)	pp.63-72
5 自然を考える ゴリラの思いやり／ウサギの耳はなぜ長い？／人工の自然—科学技術時代の今を生きるために	・生命を尊び、自然や環境を大切にすることを養い、科学技術についての幅広い知識と教養を身につけることをねらいとし、動物の行動や生き物の関わり合いを考えさせる「ゴリラの思いやり」「ウサギの耳はなぜ長い？」、科学技術が進展した現代社会における教養のあり方を考えさせる「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」を収録した。(第1・4号)	pp. 73-96
6 名作を読む(一) 山月記	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、近代の名作「山月記」を収録した。(第1・5号)	pp. 97-116
7 ユーモアと心のゆとり 祖母が笑うということ／ももこのいきもの図鑑／空飛ぶ魔法のほうき	・個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、生命を尊ぶ態度を養うことをねらいとし、人間を愛し、心のゆとりをはぐくむ「祖母が笑うということ」、ユーモアを愛し想像性の大切さを考えさせる「ももこのいきもの図鑑」「空飛ぶ魔法のほうき」を収録した。(第2・4号)	pp. 117-132

<p>8 情報化時代に生きる メディアって何？／「検索」時代における読書／言語活動 テーマを設定して調べた成果をまとめる</p>	<p>・さまざまな情報の中から真理を求め、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとし、多様なメディアと適切に付き合い、膨大な情報を適切に取捨選択して使いこなす力をはぐくむ「メディアって何？」、情報化社会の問題点と読書の意義を説く教材『「検索」時代における読書』を収録した。(第1・3号)</p>	<p>pp. 133-152</p>
<p>Ⅱ 1 若い人たちへ どんな人になりたかったか？／夢を建てる人々</p>	<p>・正義と責任、自他の敬愛と協力を重んじるとともに、自分の将来への希望をもち、未来の自分に対する理想を抱いて生きる姿勢をはぐくむことをねらいとし、正義のあり方や公共の目的のために尽力する喜びを描いた「どんな人になりたかったか？」「夢を建てる人々」を収録した。(第2・3号)</p>	<p>pp. 153-168</p>
<p>2 小説を楽しむ(二) 待合室／おぼろ月</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、他者への想像力と豊かな情操をはぐくむことができる「待合室」「おぼろ月」を収録した。(第1号)</p>	<p>pp. 169-194</p>
<p>3 伝統を受け継ぐ ひかりのどけき春の日に—日本人と桜／殺し文句は永遠に—恋する伊勢物語／和の思想、間の文化</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、伝統的なものの見方、考え方を身につけるための教材「ひかりのどけき春の日に—日本人と桜」「殺し文句は永遠に—恋する伊勢物語」「和の思想、間の文化」を収録した。(第5号)</p>	<p>pp. 195-212</p>
<p>4 短歌・俳句に親しむ 短歌／俳句</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、優れた短歌・俳句を収録した。(第1・5号)</p>	<p>pp. 213-222</p>
<p>5 社会に生きる 幸せの分量／政治の基本は民主主義／鉄を削る</p>	<p>・自主及び自立の精神を養い、他者と協調し合いながら社会の形成に参画することをねらいとし、他者と協調して働くことの価値を説き、労働の喜びを伝える「幸せの分量」、主体的に社会の形成に参画する態度を養う「政治の基本は民主主義」、社会に対する興味を広げ、さまざまな職業を尊重する態度を養う「鉄を削る」を収録した。(第2・3号)</p>	<p>pp. 223-248</p>
<p>6 名作を読む(二) こころ</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、近代の名作「こころ」を収録した。(第1・5号)</p>	<p>pp. 249-278</p>
<p>7 現代を考える 敬語への自覚、他者への自覚／家族化するペット</p>	<p>・現代社会についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統や文化への理解を深めることをねらいとし、日本語の特徴や変化について理解を深め、言語の変遷への興味を抱かせる「敬語への自覚、他者への自覚」、現代の家族のあり方を考えさせる「家族化するペット」を収録した。(第1・5号)</p>	<p>pp. 279-294</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・後見返しを含む計5箇所「読書の窓」を位置づけ、多様な本に関心をもち、読書生活を豊かにし、生涯にわたって本に親しむ態度をはぐくむことができるよう配慮した。
- ・巻末に「読書の広場」として、「星の王子さま」「鉄道員」を収録し、翻訳作品を含む感動的な文学作品に触れて感受性を豊かにし、読書への興味がいつそう湧くように配慮した。
- ・I部第8單元においては、「言語活動」として「テーマを設定して調べた成果をまとめる」を、「読むこと」の教材との有機的なつながりを意識しつつ体系的に位置づけ、「伝え合う力」を総合的に培えるように配慮した。
- ・前見返しにおいては、「自然と響き合う日本語」として、身近な自然とかかわりの深い言葉を写真と併せて示し、言葉のイメージが捉えやすいよう工夫した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28—87	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現B332	新編現代文B 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができるよう配慮した。

●構成

- ・単元構成は教材のジャンルに配慮しつつ、各単元のねらいにもとづいたテーマ別に編成した。
- ・2学年にわたって履修することも考慮して、全体を2部構成とした。

●教材選択にあたっての配慮

- ・教材は、現代の高校生が読むに値するテーマを追求した新鮮な作品や、評価の定まっている基本的な作品、我が国の伝統的な言語文化への関心を深める作品をバランスよく配置した。

●教材化の工夫

- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心、学習意欲を喚起する工夫を施すと共に、学習の参考となる写真や図版などを豊富に提示した。
- ・教材の末尾に、必要に応じて「話す・聞く」「書く」に関する設問を設け、総合的な言語能力を培うことができるよう配慮した。
- ・教材の末尾に「漢字レベルアップ」欄を設け、常用漢字の読み・書きに習熟できるよう配慮した。
- ・第I部の末尾に「言語活動例」を設け、これからの社会生活で必要となる情報収集・情報処理能力の基礎を身に付けられるよう配慮した。

●その他の工夫

- ・生涯を通じた読書生活の充実に配慮し、単元間および後見返しに「読書の窓」を配置し、巻末には「読書の広場」として翻訳作品を含む小説の名作を2本収録するなど、読書への意欲を喚起するよう工夫した。
- ・前見返しには、教材とあわせて「自然と響き合う日本語」を示し、日本人として知っておきたい伝統的な表現にふれ、イメージを喚起できるように工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容								箇所	担当 授業 時数		
	(1)指導事項				(2)言語活動例							
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ			エ	
I												
1 明日をひらく	「きっと叶いますよ」		○	○		○			○		pp.8-13	
	「迷う」力のすばらしさ	○	○			○	○	○	○		pp.14-18	
2 小説を楽しむ (一)	ざしきわらし		○	○		○	○		○		pp.20-28	
	ナイン		○	○		○	○		○		pp.29-43	
3 暮らしの中のことば	言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.46-52	
	情報の力関係	○	○	○	○	○		○		○	pp.53-56	
	●社会生活と文章	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.57-62	
4 詩を味わう	小諸なる古城のほとり		○			○	○		○		pp.64-65	
	小景異情		○	○		○	○		○		pp.66-67	
	六月		○	○		○	○		○		pp.68-69	
	コスモス		○	○		○	○		○		pp.70-71	
	(詩作者紹介ページ)		○	○		○			○		p.72	
5 自然を考える	ゴリラの思いやり	○	○					○		○	pp.74-79	
	ウサギの耳はなぜ長い?	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.80-88	
	人工の自然——科学技術時代の今を生きるために	○	○	○	○	○		○		○	pp.89-95	
6 名作を読む(一)	山月記		○	○	○	○	○		○	○	pp.98-116	
7 ユーモアと心のゆとり	祖母が笑うということ		○	○		○	○		○	○	pp.118-122	
	ももこのいきもの図鑑	○	○	○				○		○	pp.123-127	
	空飛ぶ魔法のほうき		○	○				○		○	pp.128-131	
8 情報化時代に生きる	メディアって何?	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.134-139	
	「検索」時代における読書	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.140-146	
	言語活動 テーマを設定して調べた成果をまとめる		○		○	○		○	○	○	pp.147-152	
II												
1 若い人たちへ	どんな人になりたかったか?		○	○	○	○	○	○		○	pp.154-161	
	夢を建てる人々		○	○	○	○	○	○		○	pp.162-168	
2 小説を楽しむ (二)	待合室		○	○		○	○		○		pp.170-182	
	おぼろ月		○	○		○	○		○		pp.183-194	
3 伝統を受け継ぐ	ひかりのどけき春の日に——日本人と桜	○	○	○	○	○	○	○		○	pp.196-199	
	殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語	○	○	○	○	○	○	○	○	○	pp.200-205	
	和の思想、間の文化	○	○	○		○		○		○	pp.206-212	
4 短歌・俳句に親しむ	短歌		○	○		○	○		○		pp.214-217	
	俳句		○		○	○	○	○	○	○	pp.218-222	
5 社会に生きる	幸せの分量	○	○	○	○	○	○	○	○		pp.224-230	
	政治の基本は民主主義	○	○	○		○		○	○	○	pp.231-239	
	鉄を削る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	pp.240-247	
6 名作を読む(二)	こころ		○	○	○	○	○	○	○	○	pp.250-278	
7 現代を考える	敬語への自覚、他者への自覚	○				○		○		○	pp.280-286	
	家族化するペット	○	○	○	○	○		○	○	○	pp.287-294	
読書の広場	星の王子さま		○	○	○	○	○	○		○	pp.296-313	
	鉄道員		○	○	○	○	○		○	○	pp.314-327	